



東京都立南平高等学校 学校通信 令和3(2021)年度 6月号

6月になりました

校長 福嶋 一佳

前月号では「多くのことが例年と変わらず行われようとしている中、新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、緊急事態宣言が4月26日から発令され、さらに延長して今月末までとなりました」と記しましたが、その緊急事態宣言が再延長されました。感染防止を図る中、本校でも生徒の状況に応じた対応を進めています。

自宅学習の報告を読ませてもらうと、自分なりのやり方を見つけて、自宅学習が順調にできている生徒がいる中、一人での学習に困難を感じている生徒や自分の成果が他の人と比べてどのくらいなのかと不安になっている生徒もいるようです。先月下旬の中間考査でも、成果を発揮できた生徒がいれば、学習をサボっているわけではなく自分なりに頑張ったはずなのに成果が発揮できなかった生徒もいました。今月号の南平進路だより「Disce libens」のコラムに『一人で頑張るよりも仲間と励まし合った方が学力は伸びる。「大学受験は団体戦だ!』』とあるように、学校で、みんなで学ぶことの意義はあります。そのため、本校では、生徒の心身の健康等を維持するため、今月は5月よりは登校する回数を増やすこととし、不安をもつ生徒や高齢の家族を気遣う生徒に対して配慮しながら、感染防止策をさらに徹底して臨んでいます。本校の生徒もそのことはよく理解しており、毎朝の検温・健康観察や手指の消毒を行っており、保健委員会が昼休みに「食事は自分の席で食べ、食事中は対面にはならず、おしゃべりをしない、食べ終わった後はすぐにマスクを着用する」などの昼食時の感染防止の呼びかけを放送しています。校長として、生徒のこうした取組に感謝しています。

さて、今回は授業を見て感じたことを記します。従来から保健体育科として、体育の授業では1年生から準備運動とともに補強運動を取り入れて、安全に配慮しながら、得意不得意にかかわらず、生徒が前向きに活動できるようにしていました。感染防止のため、現在は手指や道具のアルコール消毒などを行い、これまでのような身体接触が伴う活動ができない中、新たな活動を取り入れています。例えば、従来は行っていなかった「ターゲットバードゴルフ」を取り入れ、個人プレーではありますが、運動量はかなりあります。プレー中に「ナイスショット!」、「(空振りなどミスをして)頑張ってる」などと生徒同士で声を掛け合い励まし合っている姿を見て、うれしくなりました。

私はこれから社会を担う生徒には、まずは体力、そして気力、精神力が求められると考えています。補強運動を取り入れていることで、運動部に属していなかった生徒でも3年生になる頃にはか

